

良心学を展望する

— 『良心学入門』 から見える世界 —

7月に刊行された『良心学入門』（岩波書店）の執筆者がパネリストとなり、それぞれの専門的立場から「良心学」について語ります。また、互いに議論しながら、今後の「良心学」のあり方を展望します。

● 日時：2018年 **10**月**25**日（木）16:40 — 19:00

● 場所：同志社大学 今出川キャンパス 同志社礼拝堂

● パネリスト：

小原克博（同志社大学 神学部 教授）、**中村信博**（同志社女子大学 学芸学部 教授）、**内藤正典**（同志社大学 グローバル・スタディーズ研究科 教授）、**深谷 格**（司法研究科 教授）、**伊藤彌彦**（同志社大学 名誉教授）、**木原活信**（社会学部 教授）、**八木 匡**（経済学部 教授）、**和田喜彦**（経済学部 教授）、**北寿郎**（ビジネス研究科 教授）、**下楠昌哉**（文学部 教授）、**林田 明**（理工学部 教授）、**櫻井芳雄**（脳科学研究科 教授）、**貫名信行**（脳科学研究科 教授）、**武藤 崇**（心理学部 教授）、**廣安知之**（生命医科学部 教授）

● 司会：内藤正典（同志社大学 グローバル・スタディーズ研究科 教授）

■ 問い合わせ 同志社大学 良心学研究センター



E-mail: rc-csc@mail.doshisha.ac.jp <http://ryoshin.doshisha.ac.jp>

良心を世界に一良心を覚醒させる知の連携と知の実践 良心学研究センターは、現代世界における「良心」を考察し、その応用可能性・実践可能性を探求することを通じて、学際的な研究領域として「良心学」を構築し、さらにその成果を国内外に発信し、新たな学術コミュニティを形成することを目的としています。

CONSCIENCE

パネリスト略歴

小原克博 (こはら かつひろ)

同志社大学神学部教授、良心学研究センター長。専門：キリスト教思想・宗教倫理。主著：『一神教とは何か—キリスト教、ユダヤ教、イスラームを知るために』平凡社新書、2018年。

中村信博 (なかむら のぶひろ)

同志社女子大学学芸学部教授。専門：聖書とメディア文化史。主著：『新共同訳 旧約聖書注解 I』(共著)、日本キリスト教団出版局、1996年。

内藤正典 (ないとう まさのり)

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授。専門：現代イスラーム地域研究。主著：『となりのイスラーム』ミシマ社、2016年。

深谷 格 (ふかや いたる)

同志社大学大学院司法研究科教授。専門：民法学。主著：『相殺の構造と機能』成文堂、2013年。

伊藤彌彦 (いとう やひこ)

同志社大学名誉教授。専門：日本政治思想史。主著：『維新と人心』東京大学出版会、1999年。

木原活信 (きはら かつのぶ)

同志社大学社会学部教授。専門：社会福祉学。主著：『J.アダムズの社会福祉実践思想の研究』川島書店、1998年。

八木 匡 (やぎ ただし)

同志社大学経済学部教授。専門：経済学。主著：『*The Kyoto Manifesto for Global Economy-The Platform of Community, Humanity, and Spirituality*』(共著), Springer, 2018.

和田喜彦 (わだ よしひこ)

同志社大学経済学部教授。専門：エコロジー経済学。主著：『*For Our Common Home: Process-Relational Responses to Laudato Si'*』(共著), Process Century Press, 2015.

北 寿郎 (きた としろう)

同志社大学大学院ビジネス研究科教授。専門：イノベーションマネジメント。主著：『ケースブック 京都モデル—そのダイナミズムとイノベーションマネジメント』(共編著) 白桃書房、2009年。

下楠昌哉 (しもくす まさや)

同志社大学文学部教授、体育会柔道部部長。専門：英文学。主著：『妖精のアイランド—「取り替え子」の文学史』平凡社新書、2005年。

林田 明 (はやしだ あきら)

同志社大学理工学部教授。専門：地球科学。主著：『東アジアのレス-古土壌と旧石器編年』(共著) 雄山閣、2008年。

櫻井芳雄 (さくらい よしお)

同志社大学大学院脳科学研究科教授。専門：システム脳科学。主著：『脳と機械をつないでみたら—BMIから見えてきた』岩波書店、2013年。

貫名信行 (ぬきな のぶゆき)

同志社大学大学院脳科学研究科教授。専門：病態脳科学。主著：『脳神経疾患の分子病態と治療

への展開』(共編著) 羊土社、2007年。

武藤 崇 (むとう たかし)

同志社大学心理学部教授。専門：臨床心理学。主著『55歳からのアクセプタンス&コミットメント・セラピー (ACT) ——超高齢化社会のための認知行動療法の新展開』ratik、2017年。

廣安知之 (ひろやす ともゆき)

同志社大学生命医科学部教授。専門：システム工学。主著：人工知能学会編『人工知能学大事典』(共著) 共立出版、2017年。

良心とは何か

小原克博「対立する価値を調停する能力」

中村信博「愛によって障壁を越えようとする意思と責任」

内藤正典「他者の人間としての尊厳を損なわずにいられる心」

深谷 格「人間の内面の法であり、法廷」

伊藤彌彦「人間に許されない行為に出会ったと判断したときに、つまりネガティブ状況下で発現するその人の価値観」

木原活信「社会のなかの差別、不平等に共感共苦 (コンパッション) を生み出させる起爆剤」

八木 匡「人間が本来的に持つ共感能力によって生まれる、社会性の根源的要素」

和田喜彦「人間を超越する存在の意思を知ろうとする強い思いであり、それを解読・理解し、実行・実現する能力」

北 寿郎「社会の健全な成長を支える経済活動のエネルギー源」

下楠昌哉「フェアプレイ精神」

林田 明「他者と安定な関係を築くために、世界を探索し、自己あるいは社会を変革しようとする志」

櫻井芳雄「自身の能力と知識を常に疑うこと」

貫名信行「良心とは、良心がないことで定義されるもの」

武藤 崇「弱者」の立場に立ち、科学 (科学者) がもつ「権力性」を自覚し、制御する力」

廣安知之「AIを含む科学技術をヒトに役立つよう開発・利用する心のあり方」

『良心学入門』 目次

総 説 良心学とは何か 小原克博

I 思想・信条における良心

第1章	キリスト教と良心	中村信博
第2章	イスラームと良心	内藤正典
第3章	哲学と良心	ライナ・シュルツァ
第4章	法と良心	深谷 格
第5章	新島襄と良心	伊藤彌彦

II 社会生活における良心

第6章	社会福祉と良心	木原活信
第7章	経済学と良心	八木 匡
第8章	環境問題と良心	和田喜彦
第9章	ビジネスと良心	北 寿郎
第10章	スポーツと良心	下楠昌哉

III 科学の時代における良心

第11章	科学技術と良心	林田 明
第12章	医療と良心	櫻井芳雄
第13章	脳科学と良心	貫名信行
第14章	心理学と良心	武藤 崇
第15章	人工知能と良心	廣安知之

良心学研究センター主催 公開シンポジウムのご案内

■11月29日(木) 14:00-16:00、今出川キャンパス 同志社礼拝堂

「子育てと良心」(赤ちゃん学研究センターと共催)

講師：友永雅己(京都大学 霊長類研究所 教授)

塘 利枝子(同志社女子大学 現代社会学部 教授)

司会：松田佳孝(同志社大学 赤ちゃん学研究センター 准教授)

コメンテーター：内山伊知郎(同志社大学 心理学部 教授)、加藤正晴(赤ちゃん学研究センター 准教授)、小原克博(神学部 教授)

■1月17日(木) 16:40-18:40、同志社大学 今出川キャンパス 同志社礼拝堂

「AI・ロボット時代における良心」

講師：廣安知之(生命医科学部 教授)、小原克博(神学部 教授)

司会：櫻井芳雄(脳科学研究科 教授)

コメンテーター：新 茂之(文学部 教授)、田口聡志(商学部 教授)